

ヤギが村に仲間入り！？

今回はビオトープとは別？いや、その一端かもしれないヤギのお話です。

「ヤギ!ヤギ?」と話題になっているかもしれませんが、実は、理事長が園外のお隣の敷地でヤギを飼い始めたお話です。



トカラヤギの“チョコ”と“チー”



給食室からもらったゴミ?お宝?



見に来てくれた保育園児

ゴミとなるはずの、落ち葉、雑草、給食室から出る野菜の端材、などなど、ヤギさんたちの大切な餌に変わります。
そして、失われつつある、とある大切なものの復活と継承に向けて。



小学生から、中高校生、ご近所の皆様にも愛され始めています。世代を超えたいろんな雑談が地域に生まれてきました。立ち話や挨拶でさえ数は少なくなり、物事に対しても、しれーっと我関せず通り過ぎるような空気を感じる地域社会。人。「おはようございまーす!」という挨拶の数、「今日は暖かいですね!」という会話の数も、日常的に増えてきています。



小屋を作る理事長。お世話をしたり、ドッグラン?いえいえヤギラン?を作ろう!はじめてみると、気にかけて下さる方や、集まってきていたみんなが、「手伝いたい」と、いろんな事に対し、協力をし始めてくれました。理由、仕組み、手順、工夫、ものの扱い方など交換しつつ。子ども達は、本当にいろいろなひらめきや発想を提案してくれたり、協力してくれたりします。世代を超えての村人の輪。人と接する事に温かさを知り、動植物を愛する心を持つ子は、悪い人にはならないと確信が持てそうなほど、優しさで気遣いの輪に囲まれています。



近隣の方から落ち葉を頂いたり、ヤギが食べられない餌を調べてきてくれたり、ヤギがきっかけでビオトープにも興味を持ち始めたり、東京では絶滅種のオナモミの種取り、畑の間引きや雑草を抜いてヤギの餌を用意してくれたり。



集まってくる人が増えたり、活動が活発になると、考えなければならないこともたくさん出てきます。「ヤギを飼い続けるには?」と、時々ミーティング。

- もし、ヤギに集まることが原因で怪我やトラブルが起こったら?
- みんなが騒いで苦情が来たら?ヤギがストレスを感じて鳴き始めたら?
- 勉強とか、やらなければならないことを行わずにヤギのところに来たらどうなる?みんなの家族も困るし、自分の将来も困る。「立入り禁止にして下さい」ってくるかもよ?
- 与えちゃだめなものを与える人が増えても「立入り禁止」にせざるを得ないね。



「実は、ヤギさんには責任はないんだよね」例えば、そういったことを子ども達に投げかけ、話し合ってもらい、ルールやモラル、役割や担当を決め、ヤギとだけではなく、地域の人たちが共生していけるような活動が出来れば良いなど考えてきました。

実は当初、チーの一头を飼い始めました。もともと群れて生活するヤギは淋しがり屋なのですが、もし一頭での飼育が可能ならばと試してみました。しかしながら、やはり人追も激しく、離れるときから鳴き続けてしまい、その対策として夜は倉庫の中で飼っていました。毎日朝夕の掃除や移動を繰り返しながら。そして、同じ場所で育っていたもう一頭のチョコも譲り受けることに決め、生き物博士の西脇さんと車で盛岡まで迎えに行ってきました。特性どおり、今は落ち着き、2頭が平和に過ごしています。

次第に、園児も触れ合えるような機会も増していきたいと思っっているのですが、集団となると様々な懸念も増加するため、そのあたりは、各園長をはじめ、先生方の考え方に委ねることといたく考えています。

「近隣からの苦情が心配」「大変だからやめておいた方が」「もし何かがあったら」当初の関係者の反応は半ば予想通り。実際には、園で飼うわけではないので、いざとなったらふれ合いや関わりを切り離すことも、売主に返すことも可能で、「そちらの方が、現実には無難なのかな?」と、一時は周囲の言葉を配慮し、屈してしまうおかも考えました。

しかし、動物を飼うことは苦労も責任も強いられる事は承知の上でもあり、様々な懸念や対応策をイメージしての決断でした。子ども達の成長の傍らにヤギがいること、心や感情、情操を育み、興味や好奇心に対する、これまたインパクトのある存在になるであろう事、そういった気持ちをくみ入れて頂き、「もしお手伝いすることがあれば」と、積極的に協力して下さってきた皆様にも支えられ、いろいろな事象や課題に向き合いつつ、「飼い続けられる」「共生し続けられる」という解決を目指し続けています。

「ここが学童だったらいいのに」子ども達からは嬉しい言葉を頂きました。野外活動クラブとかもいいですね。子ども達の健やかな成長は、人と人、地域の健全な関係にも支えられるものです。ヤギさんを地球村の住人として迎え入れ、そこから生まれる様々な効果にも期待をし、「余計な?」「意味ある?」工夫や努力を続けていきたいと思っています。



地域の皆様が集まり、はじめた懇談会

ビオトープほか、環境教育を狙いとした NPO 「むさしの地球村」 Instagram にも、一連の記事を UP しています。

https://www.instagram.com/musashino_earth_club/



@MUSASHINO_EARTH_CLUB



学校法人野澤学園
東村山むさしの認定子ども園 GROUP
<https://musashino-group.tokyo/>

